

年 組 名前：

土星 本物に歓声 湯田小で天体観望会

甲府・湯田小で、天体観望会が開かれた。4年生の理科の授業で、児童から「土星を見たい」という声が上がったのを受け、担当教員が企画。大きな望遠鏡を通して夜空を見上げた児童からは、「きれい」と歓声が上がった。

理科を担当する大久保孝規教諭が「子どもたちの理科離れが指摘される中で、『本物を見てみたい』という声に応えなかった」と観望会を発案。11月21日に、4年生の児童と家族を対象に自由参加形式で実施した。

星空に詳しい近隣小学校の教員ら3人が講師として協力。学校敷地内に4台の望遠鏡を設置し、土星や木星、月などを観察した。望遠鏡をのぞいた児童は「(土星の) わっかが大きい」「木星はしましまがある」などと興奮気味に話していた。参加者は講師の解説を聞きながら、肉眼で「夏の大三角」や北極星も確かめた。



望遠鏡で星を観察する児童ら
＝甲府・湯田小

観望会を楽しみにしていたという4年の芦沢萌愛さんは「土星はドーナツみたいで、写真で見るよりずっときれいだった」と話した。大久保教諭や講師は「甲府の街なかでもたくさんの星が見える。また空を見上げてほしい」と呼びかけた。

〈杉原みずき〉

(2023年12月7日付 山梨日日新聞17面)

問1 甲府市の湯田小で、天体観望会を開いた理由を教えてください。

.....

問2 望遠鏡をのぞいた児童は、土星と木星をどのように話していますか。

土星：

木星：

問3 望遠鏡を使わず肉眼で見えた星を教えてください。

.....